

洞 爺 湖 町 議 会 令 和 4 年 3 月 会 議

議 事 日 程 (第 3 号)

令和 4 年 3 月 1 4 日 (月曜日) 午前 1 0 時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 議案第 5 3 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算
議案第 5 4 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算
議案第 5 5 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業特別会計予算
議案第 5 6 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算
議案第 5 7 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業特別会計予算
議案第 5 8 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算
議案第 5 9 号 令和 4 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算
(報告第 9 号 予算審査特別委員会審査報告)
- 日程第 3 意見書案第 1 5 号 日米地位協定の見直しを求める意見書 (案) について
- 日程第 4 意見書案第 1 6 号 ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書
(案) について
- 日程第 5 意見書案第 1 7 号 地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書 (案) について
- 日程第 6 発 委 第 1 号 洞爺湖町議会会議規則の一部改正について
- 日程第 7 決議案第 1 号 ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を非難し、平和的解決を強く求める決議 (案) について

本日の会議に付した事件

日程第 1 ～日程第 7 まで議事日程に同じ

出席議員 (1 2 名)

1 番	越 前 谷 邦 夫 君	2 番	大 久 保 富 士 子 君
3 番	篠 原 功 君	4 番	大 屋 治 君
5 番	立 野 広 志 君	6 番	五 十 嵐 篤 雄 君
7 番	千 葉 薫 君	8 番	今 野 幸 子 君
9 番	下 道 英 明 君	1 0 番	石 川 邦 子 君
1 1 番	板 垣 正 人 君	1 2 番	大 西 智 君

欠席議員（０名）

地方自治法第１２１条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	真 屋 敏 春 君	副 町 長	武 川 正 人 君
総務部長	佐 野 大 次 君	経済部長	若 木 渉 君
洞爺総合 支 所 長	高 橋 秀 明 君	総務課長	高 橋 謙 介 君
危機管理 室 長	仙 波 貴 樹 君	税務財政 課 長	藤 岡 孝 弘 君
住民課長	後 藤 和 郎 君	健康福祉 課 長	高 橋 憲 史 君
健康福祉 センター長	末 永 弘 幸 君	観光振興 課 長	田 仁 孝 志 君
産業振興課 長兼新型コ ロナウイルス特別 対 策 室 長	原 信 也 君	環境課長	佐 々 木 勉 君
上下水道 課 長	篠 原 哲 也 君	庶務課長	兼 村 憲 三 君
農業振興 課 長	片 岸 昭 弘 君	洞爺湖温 泉支所長	金 子 信 之 君
会 計 管 理 者	金 子 真 優 美 君	教 育 長	皆 見 亨 君
管理課長	天 野 英 樹 君	社会教育 課 参 事	角 田 隆 志 君
社会教育 課 長	野 呂 圭 一 君	代表監査 委 員	山 口 芳 行 君

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	佐 藤 久 志	書 記	阿 部 は る か
------	---------	-----	-----------

美 曉 村 木 係 務 庶

◎開議の宣告

○議長（大西 智君） 皆さん、おはようございます。

現在の出席議員は12名であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

（午前 10 時 00 分）

◎会議録署名議員の指名について

○議長（大西 智君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第120条の規定により、1 番、越前谷議員、2 番、大久保議員を指名いたします。

◎議案第53号から議案第59号まで一括上程、委員会報告、説明、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第 2、議案第53号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算から議案第59号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算までを一括議題といたします。

本件は、予算審査特別委員会の付託事件でありますので、予算審査特別委員会委員長から一括して報告を求めます。

板垣委員長。

○予算審査特別委員長（板垣正人君） おはようございます。

読み上げて報告に代えさせていただきます。

委員会審査報告書。

令和 4 年 3 月 14 日、洞爺湖町議会議長、大西智様。

予算審査特別委員会委員長、板垣正人。

洞爺湖町議会令和 4 年 3 月会議において本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、会議規則第72条の規定により報告いたします。

記。

1、事件名。

議案第53号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算、議案第54号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算、議案第55号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業特別会計予算、議案第56号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算、議案第57号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業特別会計予算、議案第58号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算、議案第59号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算。

2、審査日、令和 4 年 3 月 9 日から 11 日までの 3 日間です。

3、審査の結果。

議案第53号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算、可決すべきものと決定。

議案第54号令和 4 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算、可決すべきものと決定。

議案第55号令和4年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業特別会計予算、可決すべきものと決定。

議案第56号令和4年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算、可決すべきものと決定。

裏面をお願いします。

議案第57号令和4年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業特別会計予算、可決すべきものと決定。

議案第58号令和4年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算、可決すべきものと決定。

議案第59号令和4年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算、可決すべきものと決定。

以上であります。

○議長（大西 智君） これで報告を終わります。

なお、予算審査特別委員会は議長を除く全員による委員会でありますので、委員長に対する質疑を省略したいと思います。よろしいですか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。質疑を省略いたします。

それでは、議案第53号令和4年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算から1件ずつ討論と採決を行います。

初めに、議案第53号令和4年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算について、討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第53号令和4年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算についてを採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第53号令和4年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算については、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第54号令和4年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算について、討論ありますか。

5番、立野議員。

○5番（立野広志君） 議案第54号令和4年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算について、反対の立場で討論を行います。

本予算案は、今年1月議会において国保税医療分の均等割を7,000円に引き上げ2万3,000円に、後期高齢者支援金分を3,000円から7,000円に引き上げた結果を反映したものであります。これにより、保険税の全体の引上げ率は7.16%、1世帯当たり平均で8,854円、1人当たりでは5,750円の負担増となります。

ところが、所得水準の低い法定減額に該当する世帯は、平均の引上げ率を超え、さらに高い引上げとなっています。収入98万円以下の7割軽減世帯は6,000円、12.8%もの引上げで

す。収入が155万円以下の5割軽減世帯は1万円、7.6%の引上げ、収入222万円以下の2割軽減世帯は1万6,000円、7.6%の引上げのように、いずれも平均引上げ率7.16%を超え、低所得者により重い負担となっています。

1月の条例改正の折にも反対討論で述べましたけれども、2018年度から国保の都道府県化が実施され、北海道が標準保険料や収納率などを示し、参考としながら保険税の引上げや減免制度の縮小、廃止、一般会計からの法定外繰入の削減に応ずる内容となっています。

国保法と地方税法によれば、国保税を決めることができるのは市町村の権限であり、法定外繰入の解消や統一保険料を押しついたりすることは、法の規定を否定することになります。

コロナ禍にある町民の命と健康と暮らしを守るために、町は公費投入を増額し、保険料負担の軽減こそ行うべきであり、本予算案には反対するものです。

○議長（大西 智君） 次に、本件に賛成者の発言を許します。

6番、五十嵐議員。

○6番（五十嵐篤雄君） 賛成の立場で討論をさせていただきます。

賛成する理由は、単純明快でございます。3日間にわたり予算審査特別委員会を立ち上げ審査をしてまいりました。与えられた議案、提案に対して議決をする大切な役割を持っているのが議会でございます。今、5番議員は国保に関し反対されました。私は予算審査委員会での反対はよしとしております。それで、予算委員会で採決をしたときに、反対者はいましたけれども、皆さん採決をされたわけです。それに基づいて、予算委員長が先ほど承認すべきという予算委員会の結果を報告されたわけであります。全員が参加して開かれた予算委員会での議決を、またここで反対討論されるというのはとても私は残念に思っているところでございます。

よって、先ほど予算審査特別委員会の委員長が報告したとおり、この会計については承認すべきだと思いますので、賛成したいと思います。

以上です。

○議長（大西 智君） これで討論を終わります。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立多数です。

したがって、議案第54号令和4年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第55号令和4年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業特別会計予算について、討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第55号令和4年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業特別会計予算についてを

採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第55号令和4年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業特別会計予算については、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第56号令和4年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算について、討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第56号令和4年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算についてを採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第56号令和4年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算については、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第57号令和4年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業特別会計予算について、討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第57号令和4年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業特別会計予算についてを採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第57号令和4年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業特別会計予算については、委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第58号令和4年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算について、討論ありますか。

まず、本件に反対者の発言を許します。

5番、立野議員。

○5番（立野広志君） 議案第58号令和4年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算について、反対の立場で討論いたします。

後期高齢者保険料率は、北海道の広域連合において2年ごとに改定されますが、2022年度と2023年度の保険料率は、均等割で年間5万2,048円が5万1,892円と156円の減額、それか

ら所得割は年間10.98%で、これは変わっておりません。限度額が64万円から66万円と2万円増となっています。同時に、新年度から、これまであった保険料の低所得者特例軽減が完全になります。これにより、低所得者の負担も大変重くなります。

さらに、昨年6月多くの国民の反対を押し切って75歳以上の高齢者窓口負担を2割に引き上げました。これが今年10月から実施されます。本予算は、これを前提として一般管理事務事業費などに含まれています。

これまで、一部の現役並み所得者で3割負担となっていた人以外は、全て1割負担でした。これが10月からは単身者で年収200万円以上、夫婦世帯では年収320万円以上が2割負担となります。値上げ開始後、3年間は外来分の窓口負担が1か月3,000円以上の値上げにならないようにするとしていますけれども、高齢者の多くは生活を支えるため働く方も少なくありません。高齢者の窓口負担は今でも重く、窓口負担の支払いが不安で受診をためらう方もいるとの調査結果もあるくらいです。高齢者の窓口負担軽減のための一部負担金減免の制度の周知も現状では不十分です。

2020年12月の当議会において、私は、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施など、事業全体のコーディネートを行う保健師の配置と保健事業を企画・調整する町の実施計画、実施方針の策定を求めました。これに対して、当時の答弁では、2年後つまり2022年度実施をめどに検討するとしておりましたが、いまだ、このことには言及されていない。議会答弁に対する不誠実な対応もあるということも指摘して、今予算には反対します。

○議長（大西 智君） 次に、本件に賛成者の発言を許します。

7番、千葉議員。

○7番（千葉 薫君） 私は、賛成の立場で討論をさせていただきます。

後期高齢者の医療費のうち窓口負担を除いて約4割は、現役世代、子や孫の世代の負担、支援金となっております。また、今後も拡大していくという見通しとなっているということでございます。今回の窓口負担割合の見直しは、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくものだと考えております。負担は低いのにこしたことはないと思いますが、町の財政も厳しい中であります。ご理解をいただいて進めるべきと考えます。

以上をもって、賛成討論を終わります。

○議長（大西 智君） これで討論を終わります。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立多数です。

したがって、議案第58号令和4年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第59号令和4年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算について、討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第59号令和4年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算についてを採決いたします。

本件は、委員長報告のとおり可決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第59号令和4年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算については、委員長報告のとおり可決されました。

◎意見書案第15号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第3、意見書案第15号日米地位協定の見直しを求める意見書（案）についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

立野議員。

○5番（立野広志君） それでは、意見書（案）を読み上げて提案させていただきます。

意見書案第15号、令和4年3月7日、洞爺湖町議会議長、大西智様。

提出議員、立野広志。提出議員、今野幸子。

日米地位協定の見直しを求める意見書（案）について。

会議規則第9条第2項の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

記。

提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣。

裏面をお願いします。

日米地位協定の見直しを求める意見書（案）

日米安全保障条約に基づく日米地位協定により、全国30都道府県に130の米軍施設がある。北海道には米軍専用施設である千歳の通信施設を含め、18施設が存在し、面積では全国第一位である。沖縄の基地負担の軽減を名目にして移転訓練が実施されている矢臼別演習場では、実弾射撃訓練が繰り広げられ、昨年、初めてオスプレイが参加しての訓練が実施されている。

全国知事会は平成30年・令和2年に「米軍基地負担に関する提言」を決議、国に対し要請を行い、令和2年の提言では、「在日米軍における新型コロナウイルス感染症防止対策については、日米両国の責任において、引き続き徹底の強化」を求めています。しかし、新型コロナウイルスのオミクロン株が全国に先駆けて感染が急拡大した沖縄県や山口県では、林芳正外務大臣が「米軍での感染状況が周辺事態における感染拡大の要因の一つである可能性は否定できない」と述べているように、米軍基地が感染拡大の引き金になった可能性が指摘されている。

韓国では米軍関係者の入国後の隔離終了時に韓国側が検査を実施している。しかし、日本においては日米地位協定によって、在日米軍は入管法の適用外になっており、検疫は米軍が

行い、日本は関与できずになっている。そのことが、「水際対策」の抜け穴になっている。よって、国においては、対等・平等の日米両国の関係をつくり、国民の生命・財産と人権を守るため、日米地位協定の見直しを講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年3月7日、北海道虻田郡洞爺湖町議会議長、大西智。

以上です。よろしくお願いします。

○議長（大西 智君） 説明を終わります。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから、討論を行います。討論はありますか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

8番、今野議員。

○8番（今野幸子君） 意見書案第15号日米地位協定の見直しを求める意見書（案）に賛成の立場で討論させていただきます。

日米地位協定には多くの問題点があり、基地のある地域、特に沖縄においては、人権侵害などの犯罪や空から物が落ちてくるなどの事故なども少なくはありません。住民らの反対の声も聞かず行われる工事による自然破壊、低空飛行訓練や夜間の離着陸訓練などによる大騒音、環境基準や騒音基準など、日本国内法令さえも守ってもらえない状況は、他国と比べても日本の米軍基地の在り方が際立っています。その例として、意見書案の中でも言われたように、コロナ感染症防止対策において、韓国と米軍関係の入国の対処と日本と米軍関係者の入国の対応では、日本の検疫が適用されないなどの違いで水際対策の抜け穴になったことが上げられます。

日本にしながら、日本の法の規制を受けないなどの仕組みに、そんな特権が米軍や関係者による刑事事件なども不公平な事態を引き起こしています。意見書案どおり、対等・平等の日米両国の関係をつくり、生命、財産、人権を守るための日米協定の見直しが必要と考えます。そのことから、意見書案15号日米地位協定の見直しを求める意見書（案）に賛成します。

○議長（大西 智君） これで討論を終了いたします。

これから、意見書案第15号日米地位協定の見直しを求める意見書（案）についてを採決いたします。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立少数です。

したがって、意見書案第15号日米地位協定の見直しを求める意見書（案）については、否決されました。

◎意見書案第16号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第4、意見書案第16号ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

立野議員。

○5番（立野広志君） それでは、読み上げて提案させていただきます。

意見書案第16号、令和4年3月7日、洞爺湖町議会議長、大西智様。

提出議員、立野広志。提出議員、今野幸子。

ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）について。

会議規則第9条第2項の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

記。

提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣。

裏面をお願いします。

ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）。

医療、介護、障害福祉、保育など、公定価格で規定されるケア労働者等の強い要望に押された政府は賃金引き上げを行います。保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に「収入を3%程度（月額9,000円）」、看護師に「収入を1%程度（月額4,000円）」の引き上げを2月から9月の期間で「コロナ対応者限定」として実施されるものです。介護士や保育士は、全産業平均からみても月6万円から8万円も賃金が低く、看護師は、夜勤手当などを含めて算出しており、実態を反映していません。10月以降は、「診療報酬、介護報酬等において」引き上げを継続するとしています。

ケア労働者は、コロナ禍のなかで自らの健康と生活をなげうって、国民の命と暮らしを守るために厳しい環境のなかで必死に奮闘しています。しかし、「使命感・責任感」だけでは支えきれなくなり、退職者が続出し、深刻な事態に陥っている職場もあります。現場からは「生活改善にならない」「職場に分断を持ち込むもの」との声が上がっています。いずれの職場でも様々な専門職や事務、現業職の労働者がチームとなって仕事をしています。パート雇用者など非正規労働者を含めて、同じ職場に働くすべての労働者の賃金引き上げがなければ、労働者間の分断を招き、仕事の質やチームワークに大きな悪影響を与えることになります。職種やコロナ対応者などに限定せずに、すべての労働者の賃金引き上げが求められます。女性労働者が多いだけに、ジェンダー平等実現にとっても重要です。

また、ケア職場の共通する願いは、人手不足の解消です。低すぎる職員配置基準の改善、医師、看護師・保健師の大幅増員によるコロナ感染の再拡大への備え、新たな感染症への備えが欠かせません。政府が提唱する機動的対応では、十分にカバーできないことは明らかで

す。また、医療、介護、福祉の職場では、1人夜勤・長時間労働がいまも続いています。患者や利用者に十分なケアが行えないばかりか、安全が担保できない不安が常に付きまとう状態です。

よって、国においては、ケア職場で働くすべての労働者の賃金を全産業平均並みまで大幅に引き上げると同時に、職員配置基準を抜本的に見直し、職員安心して働き続けられるように改善することを強く求めます。

また、10月以降について、サービス利用者の新たな負担増にならないように求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年3月7日、北海道虻田郡洞爺湖町議会議長、大西智。

以上です。よろしくお願いします。

○議長（大西 智君） 説明を終わります。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから、討論を行います。討論はありますか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 次に、原案に賛成者の発言を許します。

8番、今野議員。

○8番（今野幸子君） 意見書案第16号ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）に賛成の立場で討論します。

今回、政府の賃上げは、全産業平均からみても6万円から8万円程度賃金が低いと言われている保育師等、幼稚園教諭、介護・障害福祉職員による収入3%として月額9,000円、そして看護師は夜勤手当などを含め算出、72時間を超える超過勤務も多く、また35歳を過ぎると収入の伸びは少なくなり、全産業平均よりも低い状態にあります。

また、地域でコロナ感染症に対し一定の役割を担う医療機関に勤務する看護師、職員だけを対象とし、収入を1%、月額4,000円を引き上げるとしています。コロナに係る臨時的な取り扱いによってのみ救急医療管理加算が算定されても、この賃上げの補助金の対象とはなりません。コロナで自宅療養となった患者への訪問看護も対象外です。このように、在宅での対応のように地域の医療機関や薬局などが協力して必要な医療を面として提供してコロナに対応していても、これらはみな対象外です。対象となった病院内でも、対象に加えてもよいといわれる職種と、それから対象外となる職種、対象者を加えても支給額が増えるわけではありません。

収入が増えても、何百円か何十円か分かりません。これは保育士や介護職員にも言えることで、事業所で決められますので、果たして自分の収入がどれだけ増えるか、またどれだけ手元に来るのかも分かりません。地域で、また職場内で分断が起きるような不公平感のない

賃上げが必要です。そして、何よりも人手不足の解消が重要となります。

このようなことから、私はケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）に賛成いたします。

○議長（大西 智君） これで討論を終了いたします。

これから、意見書案第16号ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）についてを採決いたします。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立少数です。

したがって、意見書案第16号ケア労働者の大幅賃上げと職員配置基準の見直しを求める意見書（案）については、否決されました。

◎意見書案第17号の上程、説明、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第5、意見書案第17号地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書（案）についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

板垣議員。

○11番（板垣正人君） 提案する前に、文字の訂正があります。裏面、本文の下から4行目、「今年9月」と書いていますが「昨年」としていただきたい。それと、2行下の「来年以降」というのを「本年以降」です。申し訳ございません。

それでは、読み上げて提案させていただきます。

意見書案第17号、令和4年3月7日、洞爺湖町議会議長、大西智様。

提出議員、板垣正人、同、越前谷邦夫、同、大久保富士子、同、篠原功、同、大屋治、同、立野広志、同、五十嵐篤雄、同、千葉薫、同、今野幸子、同、下道英明、同、石川邦子。

地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書（案）について。

会議規則第9条の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

記。

提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、環境大臣。

裏面をお願いします。

地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書（案）。

北海道内では、定期的に実施されている海洋観測モニタリングのデータや、ブリ、マンボウなど南方系魚種の回遊が多く見られていることから、海水温の上昇が漁業に大きく影響を及ぼしているものと推察され、地球温暖化・海水温上昇の原因の究明が急務となっている。

毎年、その被害状況は増しており、サケ・サンマ等が減少し、長期的には昆布の水揚げも激減してきている。

北海道を代表する秋サケも不漁に悩まされ続けている状況は、直接的に打撃を受けている漁業従事者のみならず、関連する水産加工業者への影響も含め、地域経済に大きなダメージを与え地域の活力を削ぎ、地域の衰退を招きかねない。

このことは、新型コロナウイルス感染症対策による飲食店での消費減退に伴う魚価安が、更に水産漁業者の不安を増幅させている。また、昨年9月以降赤潮が発生し、ウニや秋サケ、ブリ、ツブ、シシャモなどに被害が及び大きな経済的損失を被るとともに、本年以降の漁に大きな不安を生じさせている。

よって国においては、次の措置を早急に講ずるよう強く要望する。

記。

- 1、カーボンニュートラルの実現を着実にを行うこと。
- 2、海水温上昇に伴う水産漁業等被害の実態調査を行うこと。
- 3、被害対策の策定と支援を行うこと。
- 4、長期的な水産振興策の策定と支援を行うこと。
- 5、赤潮発生による被害対策と漁業支援及び地域支援を行うこと。
- 6、コロナ禍において、飲食店自主規制により魚価安のダメージを受けている水産漁業関連、地域経済に対し、緊急の経済支援策を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年3月7日、北海道虻田郡洞爺湖町議会議長、大西智。

○議長（大西 智君） 説明を終わります。

本件は、議員全員の提出ということになっております。質疑を省略したいと思います、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、意見書案第17号地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書（案）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、意見書案第17号地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書（案）については、原案のとおり可決されました。

◎発委第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第6、発委第1号洞爺湖町議会会議規則の一部改正についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

五十嵐委員長。

○6番（五十嵐篤雄君） 議会運営委員会で会議規則の一部を改正することについて議会に提出するということが承認されましたので、委員会を代表して提案させていただきます。

発委第1号、令和4年3月7日、洞爺湖町議会議長、大西智様。

提出者、議会運営委員長委員会、五十嵐篤雄。

洞爺湖町議会会議規則の一部改正について。

上記議案を別紙のとおり会議規則第9条第3項の規定により提出をいたします。

まず提案理由でございますが、議員活動と家庭生活の両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定する。

また、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改め、請願者の利便性の向上を図ることを目的とし、本案を提出するものでございます。

裏面をご覧くださいと思います。

洞爺湖町議会会議規則の一部を改正する規則。

洞爺湖町議会会議規則（平成18年洞爺湖町議会規則第1号）の一部を次のように改正する。

お手元に説明資料が届いているかと思いますが、その新旧対照表をご覧くださいながら説明を進めてまいりたいと思います。

まず、欠席等の届出でございます。第2条第1項中の「事故」を「公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」に、それから、第3項中の「議員」を「第1項の規定にかかわらず、議員」に、それから、「日数を定めて」を「出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲内において、その期間を明らかにして」に、改正するものであります。

また、請願書の記載事項等におきましては、第84条第1項中の「、請願者の住所及び氏名」を「及び請願者の住所」に、「名称及び代表者の氏名」を「所在地」に、「押印しなければ」を「請願者（法人の場合にはその名称を記載し、代表者）が署名又は記名押印しなければ」に、改正するものであります。

次に、議案に戻っていただきまして、附則であります。

この条例は、公布の日から施行するものであります。

以上、提案をいたしますのでよろしくお願い申し上げます。

○議長（大西 智君） 説明を終わります。

これから、質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、発委第1号洞爺湖町議会会議規則の一部改正についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、発委第1号洞爺湖町議会会議規則の一部改正については、原案のとおり可決されました。

◎決議案第1号の上程、説明、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第7、決議案第1号ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を非難し、平和的解決を強く求める決議（案）についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

板垣議員。

○11番（板垣正人君） 読み上げて提案いたします。

決議案第1号、令和4年3月14日、洞爺湖町議会議長、大西智様。

提出議員、板垣正人、同、越前谷邦夫、同、大久保富士子、同、篠原功、同、大屋治、同、立野広志、同、五十嵐篤雄、同、千葉薫、同、今野幸子、同、下道英明、同、石川邦子。

ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を非難し、平和的解決を強く求める決議案について。会議規則第9条の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

裏面をお願いします。

ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を非難し、平和的解決を強く求める決議（案）。

2022年2月24日、ロシア連邦がウクライナへ軍事侵攻を開始した。国際社会が強く自制を求めるなか武力による一方的な現状変更の試みは、国際社会の平和と安全、秩序を著しく損なうものであり、ウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為で断じて許すことはできません。

更にプーチン大統領の核の使用を示唆するような発言に対しても、厳しく非難するものです。

洞爺湖町では、非核三原則を守り恒久平和の実現を願って「非核平和の町宣言」を行っており、ロシア連邦の武力による暴挙は決して許されるべきものではなく、対話による解決を

求めるものです。

よって、洞爺湖町議会は、ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を厳しく非難するとともに、国際法を遵守し、即時無条件での軍の撤退と平和的解決を行うよう強く求めます。

以上決議する。

令和4年（2022年）3月14日、北海道虻田郡洞爺湖町議会。

以上であります。

○議長（大西 智君） 説明を終わります。

なお、決議案に対する質疑を省略したいと思いますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。質疑を省略いたします。

これから、討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、決議案第1号ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を非難し、平和的解決を強く求める決議（案）についてを採決いたします。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立全員です。

したがって、決議案第1号ロシア連邦によるウクライナへの侵攻を非難し、平和的解決を強く求める決議（案）については、原案のとおり可決されました。

以上で、提出された議案は全て終了いたしました。

閉会に当たり、町長から発言の申し出がありますので、これを許します。

真屋町長。

○町長（真屋敏春君） 洞爺湖町議会令和4年3月会議の終わりに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位には、去る7日以来ご提案いたしました条例や令和4年度一般会計予算など多くの議案を慎重にご審議賜り、全ての議案を原案可決いただきましたことに心から厚くお礼を申し上げます。

特に予算につきましては、骨格予算として編成したところでありますが、継続的な経費及び新型コロナウイルスワクチン接種事業などの喫緊の課題につきましては、一般質問をはじめ、予算審査特別委員会などでいただきました貴重なご意見、ご提案を十分尊重し、適正かつ迅速な執行に努めてまいります。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発令されるなど、町民生活や地域経済に大きな影響を与えております。引き続きワクチン接種事業を進めるとともに、生活支援、事業者支援を実施し、感染防止と

地域経済の回復を図り、将来に向け安心して暮らすことができるまちづくりを行うことが責務と考えております。

また、ユネスコに認定されている洞爺湖有珠山ジオパーク、世界文化遺産を構成する入江・高砂貝塚など、地域資源を最大限に活用し、地域の活性化と経済再生に向け、町民の皆様をはじめ、各団体と連携し、取り組んでまいりたいと考えております。

終わりになりますが、洞爺湖町のますますの発展のため、議員各位の一層のご理解を賜りますようお願いを申し上げ、令和4年3月会議の終わりに当たりご挨拶といたします。

◎散会の宣告

○議長（大西 智君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日から6月の定例日の前日までは休会となっておりますので、ご承知願います。

本日は、これをもって散会いたします。

（午前10時57分）

会議の経過は以上のとおり相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員